

アナフィラキシーが起こったときの対処法

< アナフィラキシーとは >

- ・原因物質が体内に侵入後、5～30 分で全身に症状が出る強いアレルギー反応のこと
- ・食品、ハチ毒、医薬品、ラテックス（天然ゴム由来の成分）などが原因で起こることが多い
- ・**重度（ショック状態）**の場合、放置すると死に至ることがある（呼吸ができなくなってから 10 分以上、心停止から 3 分以上で死に至る率が50%より高くなる）

アナフィラキシーが起こった…

< 症状（複数同時にみられます） >

- ・体中に赤み、ぶつぶつが出る
- ・くしゃみや強い咳が出る
- ・顔が青白くなり、立っていられない
- ・ゼーゼーする呼吸
- ・腹痛、吐き気 など

救急車を
呼ばない場合

救急車を
呼んだ場合

アナフィラキシー症状が
少し回復

医薬品の
エピペンまたは
ネフィーを使用

アナフィラキシー症状が
少し回復

（その場で
様子を見る）

医師の診察・治療を
すぐ受けることができない



エピペン
（注射薬）



ネフィー
（点鼻薬）

救急車で
病院へ搬送



医師の診察・治療を
すぐ受けることができる

再びアナフィラキシーが
起こったら対処できない

再びアナフィラキシーが
起こっても対処できる
（または、再発を回避できる）

引用：VIATRIS、アルフレッサファーマ 各HP

アナフィラキシーは、医薬品の**エピペン**または**ネフィー**（以下、エピペンなど）を使用した後も再び起こることがあります。エピペンなどは、あくまで**病院へ搬送するまでの時間を稼ぐ**ためのものです。そのため、エピペンなどを使用した後は**すぐに救急車を呼び、病院へ搬送**する必要があります。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
7月7日(火) 12時35分～13時20分

作成・発行元

北陸大学薬学部
教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 奥村桃花 中野加愛

